

価値機械としての文学

往住彰文（東京工業大学）

はじめに

文学に関して多少なりとも意義深い議論は、言語テキストがうみだす美学的産物についての言及を含まざるを得ないであろう。本稿は、これを認知的観点からおこなう。すなわち、知識、推論、信念、価値、感情といった認知過程から構成される統合的過程として文学鑑賞過程を考え、その重要な部分が、信念の形成とそれに附随する感情過程であることを述べる。

また本稿にとっては中心的な論題ではないが、小説、詩などの自然言語テキストとして存在する芸術作品と、音楽、絵画などそれぞれ異なったメディアの上で実現されている芸術作品を、共通の枠組みで扱う方法についても提案する。

認知美学論としての計算文学論

本稿では議論を限定するために、以下のような立場をとる。

- a. 読者問題として文学を扱う
- b. 読者問題を認知計算の諸過程へ分解することで、明示的な記述が可能な問題とする
- c. 文学体験の認知過程を、美的体験過程の下位集合として扱う

感覚過程にも依存する美術、音楽などとは異なって、文学は言語メディアだけに依存するという特性をもつ。このことは文学体験を認知の概念で分析するという上記の立場を正当化するであろうし、認知集約的な美的過程という、それ自身興味深い対象となるかもしれない（往住, 1998; Tokosumi & Yoshimine, 1998）。

このように定義された計算文学論は、どのような研究プログラムを導くのであろうか。以下のものが考えられる。

- a. 美的認知および文学的認知を語るための用語・概念を増強すること
- b. 美的オブジェクト（モノ）としての芸術作品および文学作品の認知的分析
- c. 美的状況（美的オブジェクトが存在する環境）で喚起される認知諸過程の分析

このうち、a. についてはわれわれはいくつかの提案をおこなってきた。問題解決的理解、感情理解、感情喚起的理解、評価喚起的理解といった理解過程の多層性の指摘や、物語理解から願望過程が発生する過程の発見である（Tokosumi & Yoshimine, 1998; 往住, 1999）。ま

Literature as a Value Machine. Akifumi Tokosumi (Tokyo Institute of Technology) akt@valdes.titech.ac.jp

た、b., c.は物語内容と言説のテキスト言語学や文学理論の応用だけでなく、分散認知論を批判的に吸収することを念頭においている。具体的には美的オブジェクトの下位範疇である文学オブジェクト（小説、物語、詩など）を次のような観点から扱うことが可能となる。

- a. 文学オブジェクト自体のもつプラン性
- b. 文学オブジェクトに分散された知識
- c. 文学オブジェクト自体とは直接関係のない目標遂行のための道具としての文学

計算文学論の普遍化

本稿のもうひとつの目的は、文学、音楽、絵画など異なったメディアに実装されている芸術作品を扱う共通の枠組みを提案することである。そもそもこれらを共通の枠組みで扱う必要などあるのだろうか？ 本稿では、メディアの異なりにも関わらず、心的過程にとって共通な要素を多く含む美的過程が存在し、それが芸術に関わる心的活動の本質的部分をなすと考えられる。芸術作品は、形式をもったオブジェクトとして存在しなければならないという宿命をもつ。文学メディア、音楽メディア、映像メディアなどはそれぞれ固有の形式をもち、その形式の存在に奉仕する一連の表現技法をもつであろう。芸術的体験が、そうしたメディア固有の表現技法を通じて喚起されるものであることはいうをまたないが、認知過程の最終産物としての美的体験を表現する共通の用語をつくり出すことで、次のような議論が可能となる。

- a. 計算文学論、計算音楽論、計算美術論、の上位概念としての計算美学論
- b. 認知システムの究極的な出力
- c. メディアを拡張するテクノロジーへの対応と、審美的感性の増強

文献

往住彰文：感情計算論から文学計算論へ；日本認知科学会第15回大会発表論文集, p.323. (1998)

Tokosumi, A. & Yoshimine, N.: From Affective Computing to Aesthetic Computing.; Proceedings of the Seventh IEEE International Workshop on Robot and Human Communication, pp. 186-190. (1998)

往住彰文、認知科学と感性工学：知識計算から感性計算への拡張；日本機械学会誌，第102巻，第965号，pp.13-15. (1999)